

科目名		測量学演習			
担当教員		稲田 巧		実務授業の有無	有
対象学科	測量建設科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	演習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	測量で使う数学についての基礎知識を得る。授業の進捗については、理解の遅い学生に合わせてゆくりと行います。後期授業の前半も引き続き測量学演習を行うが、後期授業の後半については測量士補対策授業を行い試験合格を目指す。				
学習目標 (到達目標)	測量を勉強していく上で基本となる三角関数、比例計算等については必ず理解しておく。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、資料を配布する。				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第4章 比と比例		比例式・相似条件・2点間の距離を求める公式を理解する。		
2	第5章 三角比		弧度法(ラジアン)・三角関数を理解する。		
3	第6章 平面図形と式		測量して得た方向角と距離・座標値を計算する。		
4	第7章 測量の計算		測量の基準・平面直角座標・測量の誤差の評価について学ぶ。		
5	まとめ		後期の学習範囲のまとめ		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
	%	%	取組姿勢 5 %	評価テスト 95 %	測量の基本は数学の応用です。数学が嫌いにならないでほしい。測量に必要な数学を学び理解するまで反復練習をおこない演算の実力をつけて「測量士補」の試験対策に活かしてほしい。
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		測量会社にて測量業務24年			